

NSG グループ

2024年3月期 第3四半期決算報告

(2023年4月1日～ 2023年12月31日)

日本板硝子株式会社
執行役常務 CFO
大河内聡人

2024年2月9日

目次

1. 2024年3月期 第3四半期決算概要
2. 2024年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗
4. 次期中期経営計画の策定について
5. まとめ

1. 2024年3月期 第3四半期決算概要

連結損益計算書

自動車用ガラス事業の改善が継続し、累計では引き続き増収増益。

10-12月期の営業利益は、欧州における経済減速と異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受ける

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	1,906	1,925	20	5,662	6,127	465
営業利益	97	61	△ 37	242	321	79
営業利益率	5.1%	3.2%	△ 1.9pt	4.3%	5.2%	+0.9pt
個別開示項目 (純額)	10	6	△ 4	△ 439	9	449
個別開示項目後営業利益 (△損失)	107	67	△ 40	△ 198	330	528
金融費用 (純額)	△ 48	△ 64	△ 16	△ 113	△ 204	△ 91
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	37	37
持分法による投資利益	21	15	△ 6	54	37	△ 17
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	△ 4	△ 1	3	△ 11	10	21
税引前利益 (△損失)	77	17	△ 60	△ 268	211	479
当期利益 (△損失)	22	36	14	△ 348	141	489
純利益 (△損失)*	17	37	21	△ 372	135	507
EBITDA	202	170	△ 31	544	650	107

10-12月期は、アルゼンチン大統領交代に伴う異例の通貨切り下げの影響を受けたが、累計では自動車用ガラス事業で大幅な増収増益を継続

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	△12	+0
自動車用	+474	+104
高機能	△1	△15
その他	+4	△9
グループ全体	+465	+79

前年は欧州自動車用ガラス事業ののれんと無形資産の減損損失を計上

欧米の市場金利上昇に伴い金融費用が増加

第1四半期にロシアJVの売却に伴い、過去に計上した金融債権および投資に対する減損損失の戻入益を計上

営業利益における為替影響

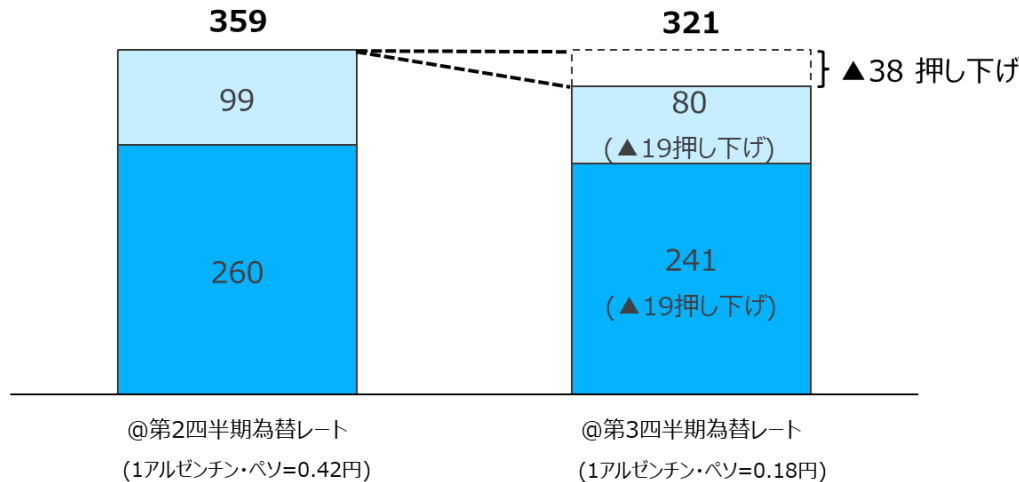
10-12月期の営業利益は為替の影響を受けて減少。
 異例のアルゼンチン・ペソ切り下げに伴うものであり、現地通貨ベースでは強い需要により好調

累計 (9か月) 営業利益

- ・ 期中平均レートを使用 (アルゼンチン・ペソは期末レート)
- ・ 第3四半期累計の営業利益321億円を第2四半期為替レートで換算すると359億円
 → 為替影響により営業利益を約40億円押し下げ (黒点線)

第3四半期累計営業利益の比較 (億円)

■ 第2四半期累計 (6か月) □ 第3四半期 (3か月)

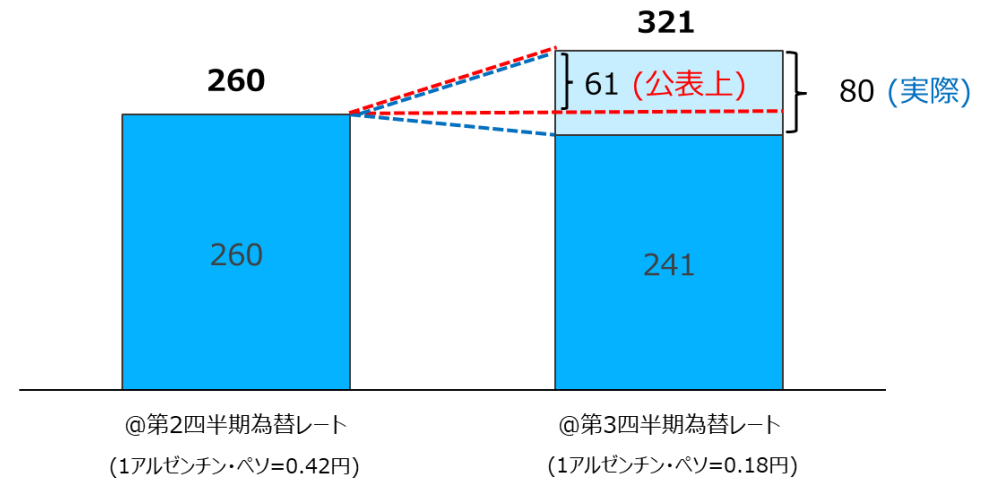


10-12月期 (3か月) 営業利益

- ・ 第3四半期累計と第2四半期累計との差額
- ・ 公表上 : 61億円 (赤点線)
- ・ 実際 : 80億円 (青点線)
 第2四半期累計の営業利益260億円は、第3四半期には為替影響により241億円に減少

10-12月期営業利益の比較 (億円)

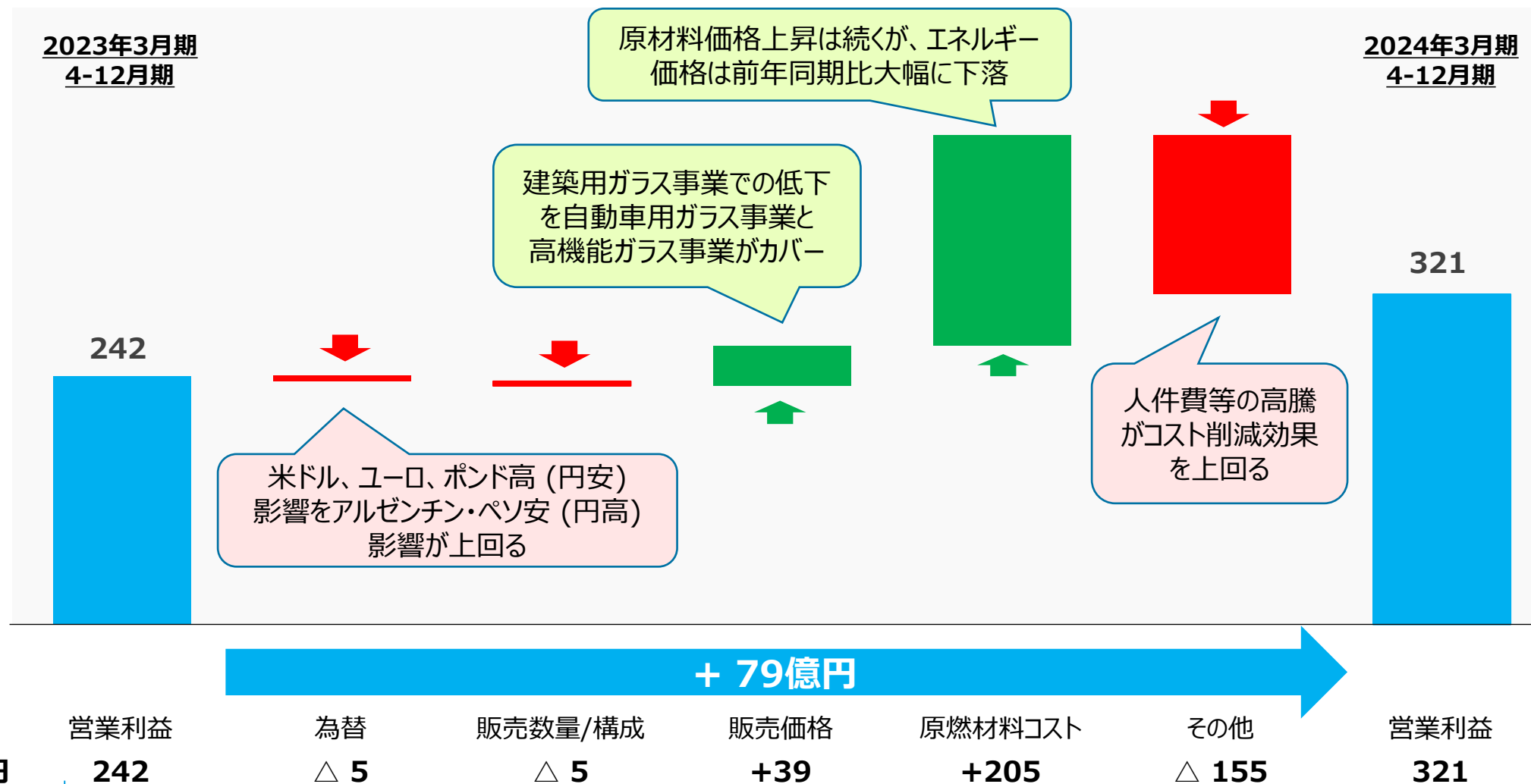
■ 第2四半期累計 (6か月) □ 第3四半期 (3か月)



営業利益差異分析 (4-12月期累計)

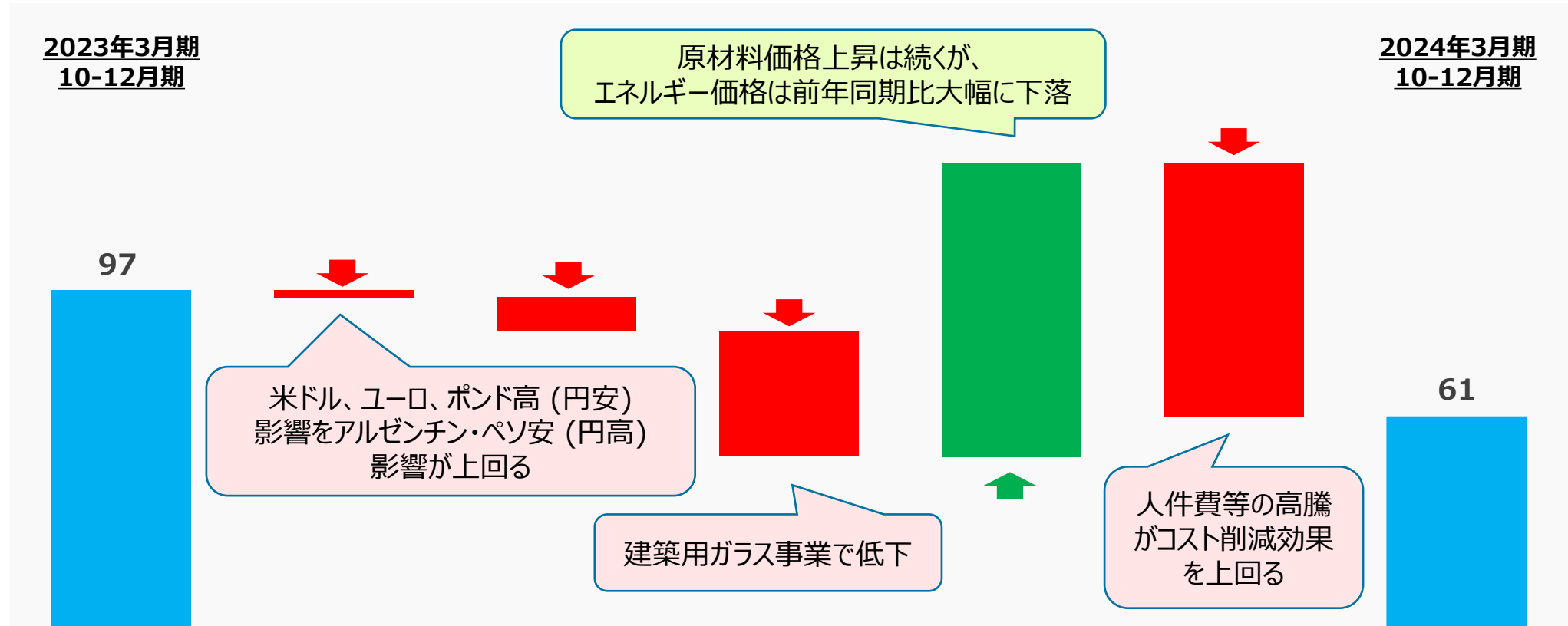
エネルギー価格は前年同期比で大きく下落。

販売価格改善もあり原材料費およびその他コスト増加の影響を吸収



営業利益差異分析 (10-12月期)

その他コスト増加と欧州建築用ガラス事業における販売価格低下の影響を
エネルギー価格の下落が軽減



営業利益

為替

販売数量/構成

販売価格

原燃材料コスト

その他

営業利益

億円

97

△ 2

△ 10

△ 36

+ 85

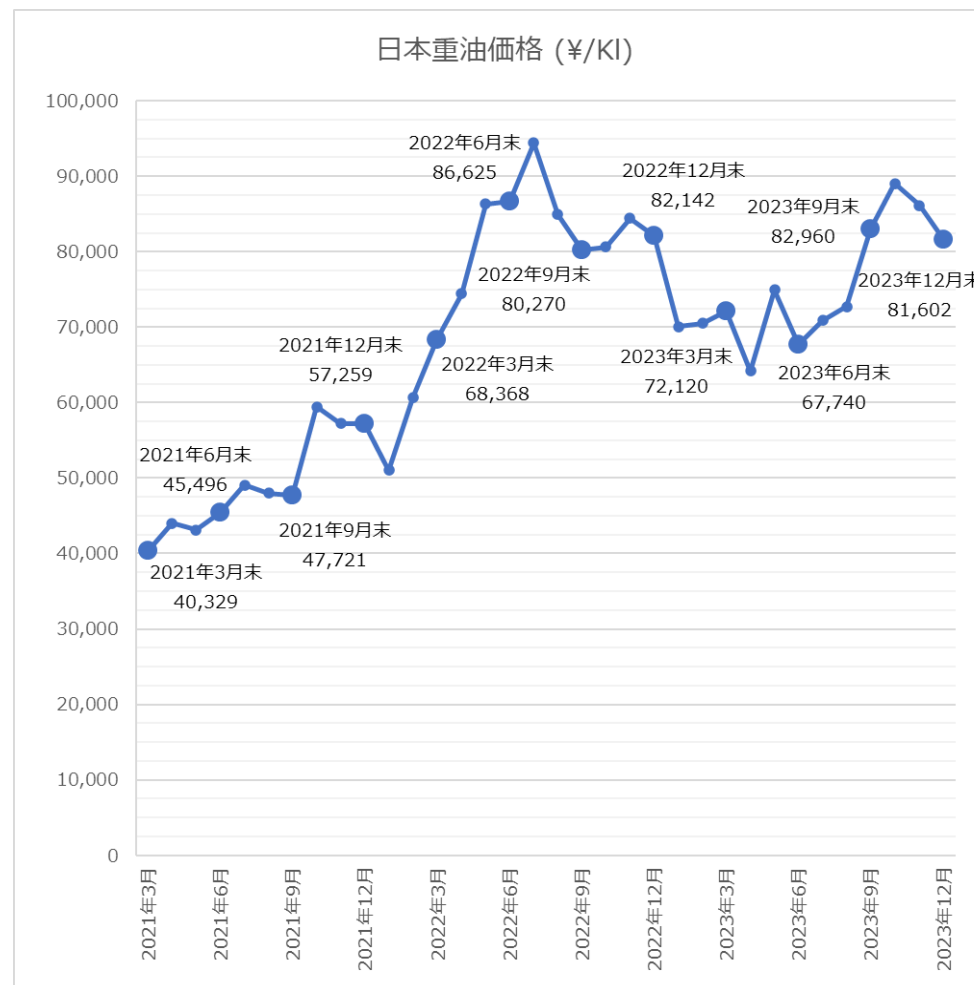
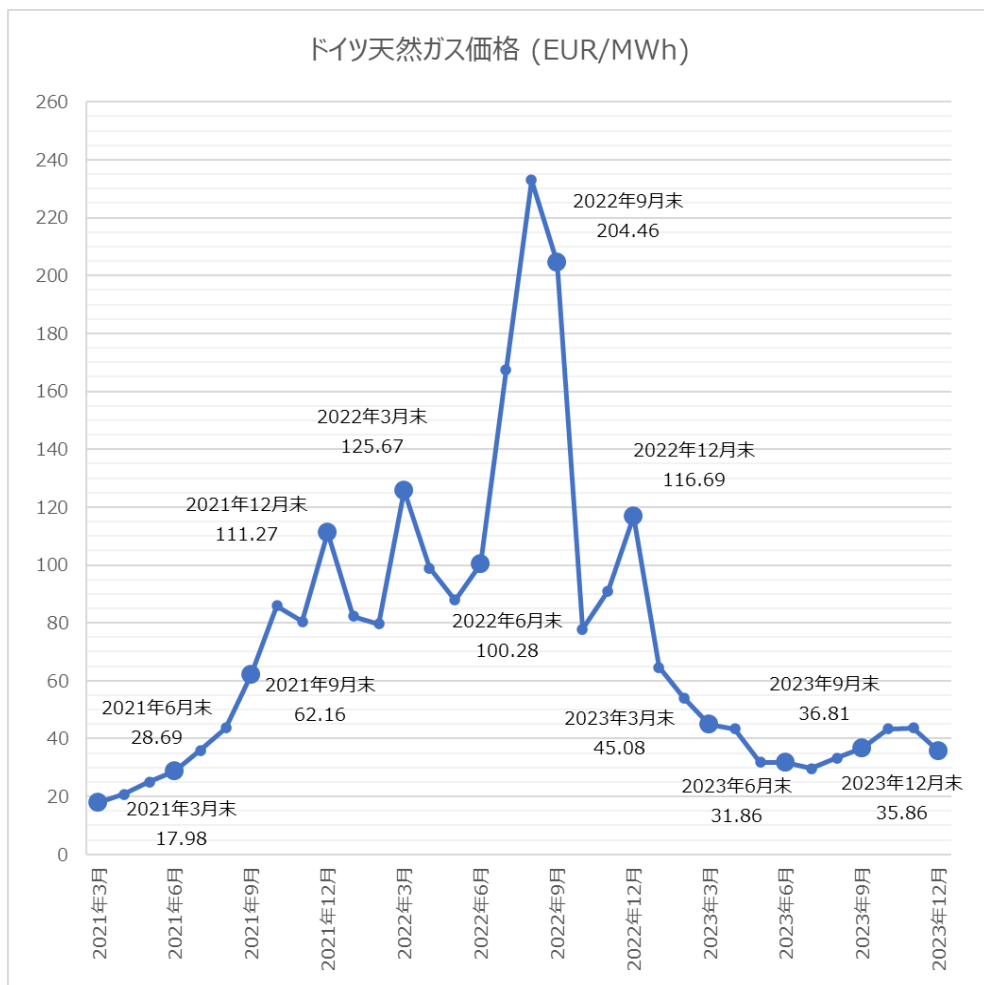
△ 73

61

エネルギー価格の推移

ドイツの天然ガス価格：第3四半期はほぼ安定的に推移

日本の重油価格：第2四半期に続き高値で推移



連結貸借対照表

アルゼンチン・ペソ切り下げの影響にもかかわらず、自己資本比率は11.6%と前期末比で1.4pt改善。
 RP24の目標数値である10%超を維持

(億円)	2023年 3月末	2023年 12月末	増減
資産合計	9,514	9,535	21
非流動資産	6,151	6,359	208
流動資産	3,363	3,176	△ 187
負債合計	8,265	8,206	△ 59
流動負債	3,844	3,082	△ 762
非流動負債	4,421	5,124	703
資本合計	1,249	1,329	80
親会社の所有者に帰属する持分	970	1,109	139
自己資本比率 (%)	10.2%	11.6%	+1.4pt
ネット借入	4,079	4,591	512

為替影響による有形固定資産の増加

主に短期借入金から長期借入金へのシフト

純利益の計上により
自己資本比率11%超

主に運転資本の増加に伴う
フリー・キャッシュ・フローのマイナス
および円安影響により借入金が増加

連結キャッシュ・フロー計算書

累計のフリー・キャッシュ・フローは運転資本の増加に伴いマイナスだが、10-12月期はプラス。
通期でRP24の目標数値である100億円以上を目指す

(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期累計 (9か月)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 31	158	189	83	192	108
(うち、運転資本の増減)	△ 172	72	244	△ 326	△ 241	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 88	△ 96	△ 8	△ 297	△ 316	△ 18
(うち、有形固定資産の取得)	△ 93	△ 119	△ 26	△ 284	△ 397	△ 113
フリー・キャッシュ・フロー	△ 119	62	181	△ 214	△ 124	90
財務活動によるキャッシュ・フロー	113	△ 130	△ 243	128	△ 129	△ 258
現金及び現金同等物の増減	△ 6	△ 68	△ 62	△ 86	△ 253	△ 167
現金及び現金同等物 期末残高				528	462	△ 66

10-12月期は運転資本が改善

戦略投資の増加および為替影響

累計でも、運転資本の増加を除くとプラス。
通期でRP24の目標数値である100億円以上を目指す

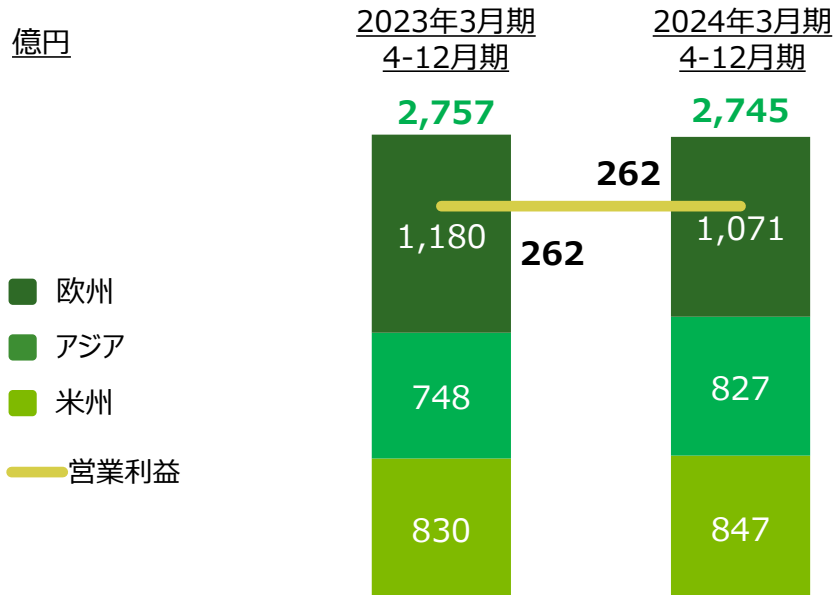
セグメント情報

(億円)	2022年3月期 4-12月期			2023年3月期 4-12月期			2024年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	2,069	47%	204	2,757	49%	262	2,745	45%	262	△ 12	0
欧州	842	19%		1,180	21%		1,071	17%		△ 108	
アジア	647	15%		748	13%		827	13%		79	
米州	579	13%		830	15%		847	14%		17	
自動車用ガラス事業	2,033	46%	△ 59	2,584	46%	△ 11	3,059	50%	93	474	104
欧州	864	20%		1,076	19%		1,272	21%		196	
アジア	444	10%		494	9%		595	10%		101	
米州	725	16%		1,015	18%		1,192	19%		178	
高機能ガラス事業	308	7%	78	298	5%	72	296	5%	57	△ 1	△ 15
欧州	59	1%		68	1%		76	1%		8	
アジア	240	5%		218	4%		207	3%		△ 11	
米州	9	0%		12	0%		14	0%		2	
その他	20	0%	△ 77	23	0%	△ 82	27	0%	△ 91	4	△ 9
合計	4,430	100%	145	5,662	100%	242	6,127	100%	321	465	79

建築用ガラス事業 (累計：減収・増益 10-12月期：減収・減益)

減収だが累計の営業利益は前年同期比と同水準を維持。

10-12月期は欧州の経済活動の減速と異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受け減収減益



欧州 (累計：減収・減益 10-12月期：減収・減益)

- 経済活動の減速に伴い販売数量・販売価格が低下
- 市場環境の悪化による影響はエネルギー価格の下落により軽減

アジア (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

- 日本では需給改善に伴い販売価格および販売数量が改善
- その他の東南アジアでは競合が続き販売価格が低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調。
マレーシアの設備も12月より稼働開始

米州 (累計：増収・増益 10-12月期：減収・減益)

- 北米は需要が軟化し、販売数量減少
- 南米は好調な需要が継続、アルゼンチンの新フロート窯稼働もあり販売数量増加。
日本円ベースでは、第3四半期のアルゼンチン・ペソ安影響を受ける
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

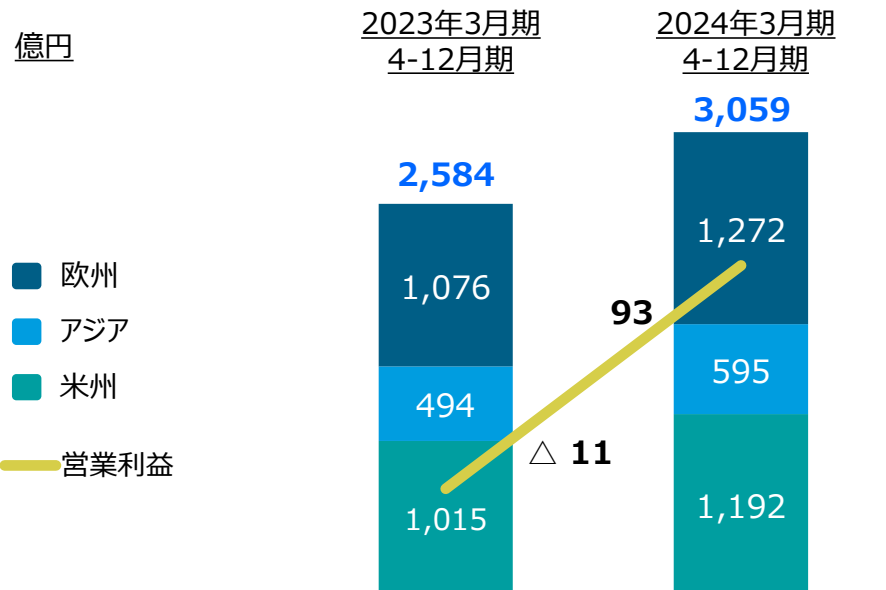
(億円)	10-12月期(3か月)			累計(9か月)		
	2023年3月期	2024年3月期	差異	2023年3月期	2024年3月期	差異
売上高	936	816	△ 120	2,757	2,745	△ 12
欧州	391	336	△ 55	1,180	1,071	△ 108
アジア	258	279	21	748	827	79
米州	287	201	△ 86	830	847	17
営業利益	107	44	△ 63	262	262	0

自動車用ガラス事業

(累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)



販売価格改善や販売数量増加等により事業全体では前年同期比で増収増益を継続



欧州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・減益)
 アジア (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)
 米州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

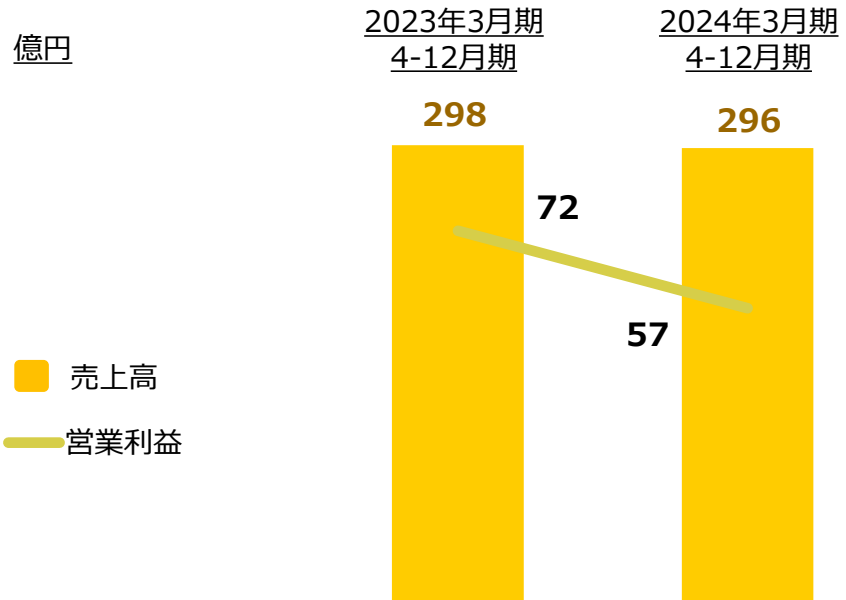
- 部品不足による自動車生産制約の影響が緩和し、多くの地域で販売数量が増加
- 原材料およびその他コスト増加を転嫁するための価格改善交渉がさらに進捗、販売価格が改善
- 引き続きコスト削減、高付加価値製品の拡大、価格改善を推進

(億円)	10-12月期(3か月)			累計(9か月)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	866	1,007	141	2,584	3,059	474
欧州	377	434	57	1,076	1,272	196
アジア	170	212	42	494	595	101
米州	319	362	43	1,015	1,192	178
営業利益	6	30	24	△ 11	93	104

高機能ガラス事業

(累計：減収・減益 10-12月期：増収・増益)

IT市場減速、原燃材料およびその他コスト上昇、売上構成の悪化の影響を継続して受けるが
10-12月期は前年同期比で増収増益



- ファインガラスでは、IT市場減速の影響を受け販売数量が減少し売上構成も悪化
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けの需要が減少
- グラスコードは自動車生産制約の緩和に伴い回復
- メタシャイン® は自動車塗料および化粧品向けで増加

(億円)	10-12月期(3か月)			累計(9か月)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	96	98	2	298	296	△ 1
営業利益	15	17	1	72	57	△ 15

2. 2024年3月期 業績予想について

2024年3月期 業績予想

異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受けるも、売上高および営業利益は前回予想を維持。
着実な成長により引き続き2008年のリーマンショック以降の営業最高益を目指す

(億円)	2024年3月期 通期予想 (前回)	2024年3月期 通期予想 (今回)	増減	2023年3月期 通期実績 (参考)
売上高	8,400	8,400	-	7,635
営業利益	420	420	-	348
個別開示項目 (純額)	0	0	-	△ 452
個別開示項目後営業利益(△損失)	420	420	-	△ 103
金融費用 (純額)	△ 290	△ 290	-	△ 174
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	40	40	-	-
持分法による投資利益	50	50	-	73
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	10	10	-	△ 15
税引前利益 (△損失)	230	230	-	△ 219
当期利益 (△損失)	140	140	-	△ 310
純利益 (△損失)*	120	130	10	△ 338

2024年3月期 業績予想の前提

グループ	<p>異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受けるも、売上高および営業利益は前回予想を維持。RP24の最終年として、重点施策「財務基盤の回復」を推進</p> <ul style="list-style-type: none">● 主要通貨の円安は継続するが、異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受ける● エネルギー価格は安定的に推移するものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続● 景気後退等リスクにより事業環境は依然不透明だが、コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善を継続
建築用ガラス	<p>日本、南米、太陽電池パネル用ガラスで好調な需給環境が継続、一方で欧米の経済減速リスクに注意</p> <ul style="list-style-type: none">● 欧州：投入コストの増加と景気減速による販売数量減少の影響を受けるが、エネルギー価格低下により軽減● アジア：日本の販売数量および販売価格が改善するが、その他の東南アジア地域での競合が続く見込み● 北米：需要が軟化し、販売数量が減少● 南米：良好な需給環境とアルゼンチンの新フロート窯も貢献するが、アルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受ける● 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が続き、マレーシアの設備の稼働開始も収益に貢献
自動車用ガラス	<p>原燃材料費高騰の影響が続くが、販売数量は増加する見込み</p> <ul style="list-style-type: none">● 全地域で引き続き在庫積み上げが継続し、強い自動車需要をけん引する見込み● 自動車生産の制約解消に伴い販売数量が徐々に回復● 自動車メーカーと、投入コスト増加を軽減するための価格改善交渉を継続● 引き続きコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により更なる収益性改善を目指す
高機能ガラス	<p>コスト上昇およびIT市場の減速に伴う需要減少の影響が続く</p> <ul style="list-style-type: none">● ファインガラスは、市場減速の影響が継続する見込みだが、コスト削減を継続● プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業に伴う需要減少により販売数量減少が継続● グラスコードは、自動車生産の制約解消に伴い販売数量が徐々に回復

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

持続的な成長が可能な事業体質を目指し主要施策を推進

3つの改革

● 事業構造改革

- ・ アルゼンチン2基目の新フロート窯が収益に貢献
- ・ マレーシアの既存フロート窯で、太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備が2023年12月より稼働開始
- ・ 米国オハイオ州ロスフォードの既存窯に太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備新設を発表。暦年2025年1~3月の出荷開始を予定



マレーシアの太陽電池
パネル用ガラス製造設備

2つの重点施策

● 財務基盤の回復

- ・ 営業利益率 : 原材料費高騰の下、コスト削減、高付加価値製品の拡大、販売価格上昇により5.2%
- ・ 純利益 : 増益が続く営業利益および第1四半期のジョイント・ベンチャー売却に伴う戻入益の計上もあり、累計で135億円
- ・ 自己資本比率 : 純利益計上もあり前期末から1.4pt改善し11.6%と目標数値である10%を上回る
- ・ FCF : 第3四半期はプラス。累計でも運転資本増加を除くとプラス。通期での目標数値である100億円以上達成を目指す

4. 次期中期経営計画の策定について

次期中期経営計画の策定について（前回分再掲）

現中期経営計画（RP24）

～2024年3月期

構造改革が収益成長に結実

次期中期経営計画（イメージ）

2025年3月期～

4つの「D」（Decarbonization, Digital, Development, Diversity）をキーワードに、さらなる収益力強化、財務基盤改善を目指す

「コスト構造改革」

+

「事業構造改革」

↓

営業利益は2008年の
リーマンショック以降最高へ

2022年3月期（実績）：200億円

2023年3月期（実績）：348億円

2024年3月期（予想）：420億円

● キャッシュ・フロー創出

- ・ 収益成長事業の拡大（**Decarbonization**、**Digital**）
 - － 建築用：太陽光発電パネル用ガラス
リノベーション需要の取り込み
 - － 自動車用：CASEやEVに対応した高付加価値製品
 - － 高機能：脱炭素化、高度情報化対応製品
- ・ 研究開発・事業開発体制の強化（**Development**）

● ボラティリティ耐性向上

- ・ グループ経営基盤強化と効率化（**Digital Transformation**）
- ・ サプライチェーン見直しや余剰キャパシティ削減等の継続的な推進

● サステナビリティ

- ・ 2050年カーボンニュートラル（**Decarbonization**）
- ・ 人的資本経営、DEI（**Diversity**, Equity & Inclusion）

● 財務

- ・ PBRやROE改善等株主価値向上や資本コストを意識した経営
- ・ 有利子負債削減、A種種類株式への対応、復配に向けた考え方

5. まとめ

1. 2024年3月期 第3四半期決算

- 第3四半期は欧州における経済活動の減速とアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受けるが、累計では増収増益を継続
- エネルギー価格は前年同期比で大幅に下落。販売価格改善もあり原材料費およびその他コスト増加の影響を吸収
- 自動車用ガラス事業では販売数量が回復、価格転嫁も進捗し収益改善
- グループ全体の営業利益率は5.2%。自己資本比率は11.6%、RP24の財務目標数値である10%超を維持

2. 2024年3月期 業績予想

- 異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受けるが、通期売上高・営業利益は前回予想を維持。
引き続き2008年のリーマンショック以降、営業最高益を目指す
- エネルギー価格は落ち着くものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続
- 景気後退等リスクにより事業環境は依然不透明だが、コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善を継続

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

- 事業構造改革 : マレーシアの太陽電池パネル用ガラスの新設備で生産開始。
米国の既存窯に太陽電池パネル用ガラスの設備新設を発表。2025年1～3月に出荷開始予定
- 財務基盤の回復 : 営業利益率はグループ全体で5%超に、自己資本比率も11%超。
RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進

4. 次期中期経営計画の策定について

- 4つの「D」をキーワードに、さらなる収益力強化、財務基盤改善を目指す内容で2024年5月公表予定

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- ガラス価格の推移

連結損益計算書

四半期別推移

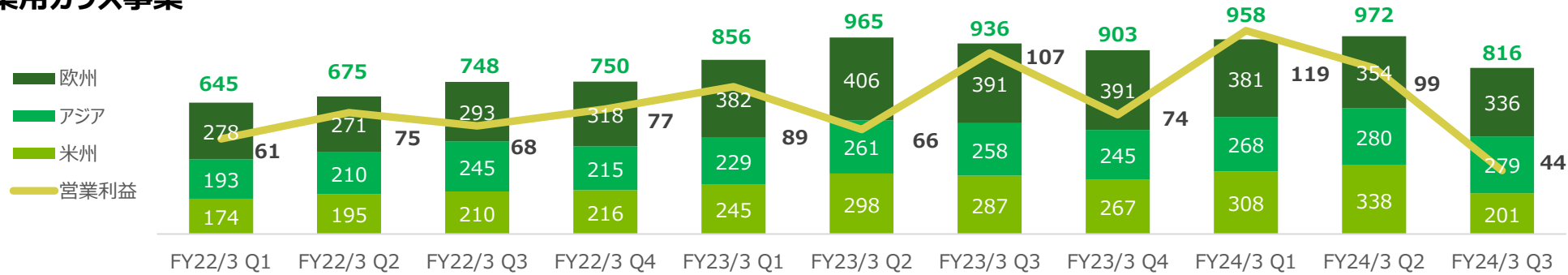
(億円)	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	1,477	1,430	1,523	1,576	1,779	1,977	1,906	1,973	2,080	2,122	1,925
営業利益 (△損失)	72	55	18	55	83	62	97	107	146	115	61
営業利益率	4.8%	3.9%	1.2%	3.5%	4.6%	3.1%	5.1%	5.4%	7.0%	5.4%	3.2%
個別開示項目 (その他)	△ 2	47	△ 2	△ 7	23	△ 473	10	△ 12	△ 8	11	6
個別開示項目後営業利益 (△損失)	70	102	17	48	106	△ 411	107	94	138	125	67
金融費用 (純額)	△ 29	△ 29	△ 32	△ 34	△ 28	△ 37	△ 48	△ 61	△ 64	△ 77	△ 64
持分法適用会社に対する金融債権の減損損失の戻入益 (△損失)	-	-	-	△ 34	-	-	-	-	37	-	-
持分法による投資利益	15	19	22	19	22	10	21	20	10	12	15
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	-	-	-	△ 34	△ 12	5	△ 4	△ 4	11	△ 0	△ 1
税引前利益 (△損失)	55	92	7	△ 36	88	△ 434	77	49	133	61	17
当期利益 (△損失)	29	67	10	△ 38	33	△ 403	22	38	75	30	36
純利益 (△損失)*	25	61	0	△ 45	24	△ 412	17	34	70	27	37
EBITDA	165	146	111	144	180	161	202	207	253	226	170

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

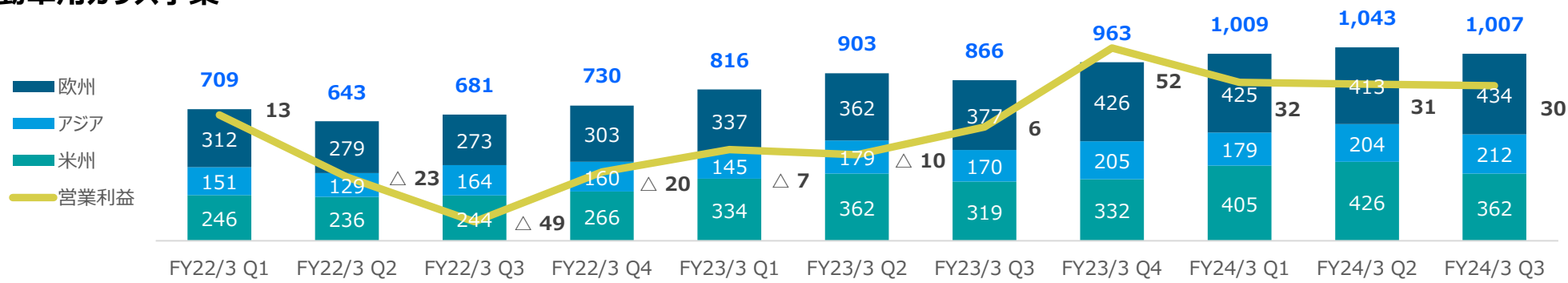
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

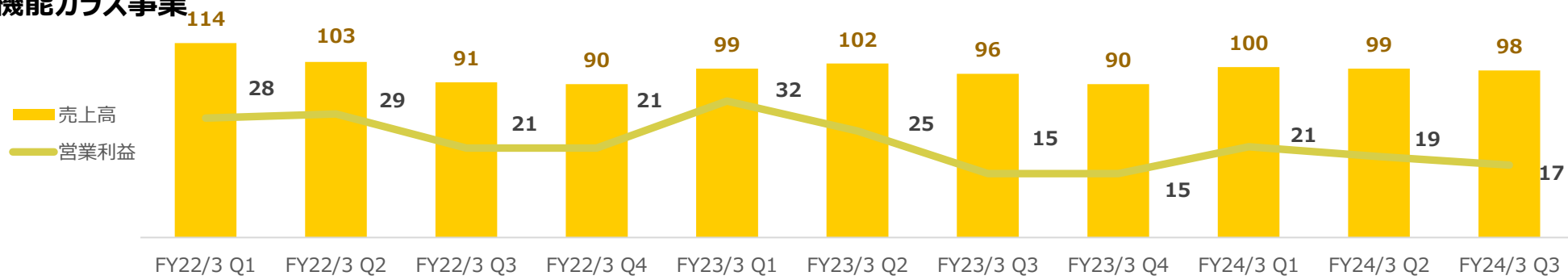
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2022年3月期					2023年3月期					2024年3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	645	675	748	750	2,818	856	965	936	903	3,659	958	972	816	2,745
欧州	278	271	293	318	1,160	382	406	391	391	1,571	381	354	336	1,071
アジア	193	210	245	215	862	229	261	258	245	992	268	280	279	827
米州	174	194	210	216	795	245	298	287	267	1,096	308	338	201	847
営業利益	61	75	68	77	281	89	66	107	74	336	119	99	44	262
売上高: 自動車用ガラス	709	643	681	730	2,762	816	903	866	963	3,547	1,009	1,043	1,007	3,059
欧州	312	279	273	303	1,167	337	362	377	426	1,502	425	413	434	1,272
アジア	151	129	164	160	604	145	179	170	205	699	179	204	212	595
米州	246	236	244	266	992	334	362	319	332	1,347	405	426	362	1,192
営業利益	13	△ 23	△ 49	△ 20	△ 79	△ 7	△ 10	6	52	41	32	31	30	93
売上高: 高機能ガラス	114	103	91	90	398	99	102	96	90	388	100	99	98	296
欧州	21	18	20	20	79	21	25	22	27	95	25	26	26	76
アジア	90	82	68	66	306	75	73	70	58	276	71	69	67	207
米州	3	3	3	4	13	4	5	4	4	16	4	5	5	14
営業利益	28	29	21	21	99	32	25	15	15	87	21	19	17	57
売上高: その他	9	8	3	7	27	8	7	9	18	41	13	8	5	27
営業利益	△ 31	△ 25	△ 22	△ 24	△ 101	△ 31	△ 19	△ 31	△ 34	△ 115	△ 27	△ 34	△ 30	△ 91
売上高: 合計	1,477	1,430	1,523	1,576	6,006	1,779	1,977	1,906	1,973	7,635	2,080	2,122	1,925	6,127
営業利益	72	55	18	55	200	83	62	97	107	348	146	115	61	321

地域別売上高および営業利益

(億円)	2023年3月期 4-12月期			2024年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	2,324	41%	62	2,419	39%	39	95	△ 23
アジア	1,459	26%	161	1,629	27%	231	170	70
米州	1,856	33%	100	2,053	34%	142	196	42
その他 *	23	0%	△ 82	27	0%	△ 91	4	△ 9
合計	5,662	100%	242	6,127	100%	321	465	79

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2023年3月期 4-12月期	2024年3月期 4-12月期
子会社の売却による利益	15	10
係争案件の解決に係る収益 (△費用) 純額	27	9
有形固定資産等の減損損失の戻入益	1	2
棚卸資産の評価減	-	△ 2
リストラクチャリング費用	△ 2	△ 3
非流動資産の減損損失	-	△ 6
固定資産売却による利益	6	-
のれん及び無形資産の減損損失	△ 488	-
その他	1	△ 0
個別開示項目 純額	△ 439	9

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	153	152	153	153	163	163	164	163	172	177	179
ユーロ	132	131	131	130	138	139	140	141	150	153	154
米ドル	109	109	112	112	129	134	137	135	138	140	143
ブラジル・リアル	20.6	20.8	20.7	21.0	26.4	26.4	26.5	26.3	27.7	28.6	29.0
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用										

2024年 3月期
期初見通し
160
134
134
24.8

期末レート

	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	153	150	156	160	165	161	160	165	183	182	181
ユーロ	132	129	131	136	142	141	140	145	158	157	157
米ドル	111	112	116	122	136	145	132	133	145	148	143
ブラジル・リアル	22.3	20.6	20.4	25.5	26.2	26.7	25.7	26.2	29.8	29.5	29.2
アルゼンチン・ペソ	1.16	1.13	1.12	1.10	1.09	0.98	0.76	0.64	0.57	0.42	0.18

為替感応度

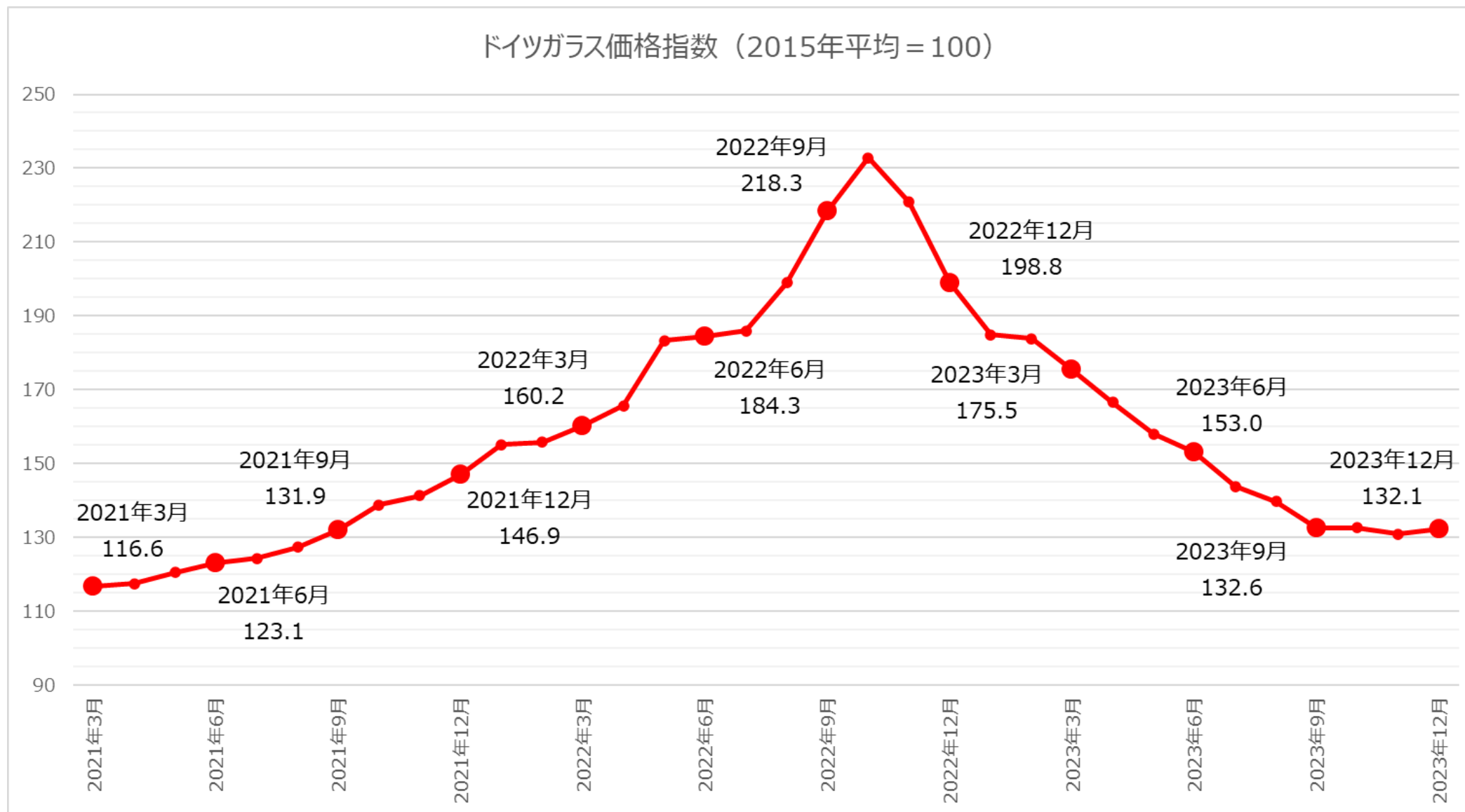
他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の影響額

	2023年 3月期
資本	30.0億円の減少
当期損失	4.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2023年3月期 4-12月期	2024年3月期 4-12月期	2024年3月期 見通し
減価償却費	302	329	440
資本的支出	263	385	477
通常投資	226	248	
戦略投資	37	137	
研究開発費	68	74	100
建築用ガラス事業	21	24	
自動車用ガラス事業	20	23	
高機能ガラス事業	7	6	
その他	20	21	

ガラス価格の推移



NSG

GROUP